

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による原価法を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
定率法を採用している。
- (3) リース取引の処理方法
20年4月以降契約のファイナンスリース取引は売買処理を採用している。
- (4) 消費税等の会計処理
税込経理方式を採用している。
- (5) 賞与引当金
従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金(基)	27,370,000	0	0	27,370,000
小計	27,370,000	0	0	27,370,000
合計	27,370,000	0	0	27,370,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産か らの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金(基)	27,370,000	27,370,000	0	—
小計	27,370,000	27,370,000	0	—
特定資産				
その他の積立金	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	27,370,000	27,370,000	0	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
建物	758,071,063	619,124,743	138,946,320
建物附属設備	33,089,134	33,008,491	80,643
構築物	2,485,750	2,429,034	56,716
車両運搬具	536,000	535,999	1
什器備品	67,565,626	67,480,181	85,445
ソフトウェア	367,500	6,125	361,375
リース資産	9,604,800	8,404,200	1,200,600
下水道受益者負担金	1,417,550	1,319,107	98,443
合計	873,137,423	732,307,880	140,829,543

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金						
運営費補助金	盛岡市	-	45,000,000	45,000,000	-	一般正味財産
合計		-	45,000,000	45,000,000	-	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	6,842
基本財産受取利息	
合計	6,842